

松山町

松山町ハ江戸ヨリノ行程ハ前村ニ同シ松山領ニカ、ル村々ノ本郷ナレハ昔ヨリ松山本郷ト唱ヘ庄ハ龜井ニ屬セリ古ヘハ松山城下町ニテ小名元宿分ノ邊ニ家並ヲナセシカ天正年中松山落城ノ後今ノ所ニ家居ヲナセリ江戸ヨリ中山道熊ヶ谷町及西上州ヘノ往還人馬繼立ノ脇道ニテ或ハ八王子ノ千人同心モ常ニ此道ニカ、リテ日光ヘ通ヘリ民戸四百餘村ノ廣サ東西一里餘南北ハ一里ニ足ラス東ハ市ノ川ヲ隔テ、横見郡根小屋流川ノ二村及郡中ノ流川村ニ續ケリ南ハ柏崎野本ノ二村ニ隣リ北ハ野田平市ノ川ノ三村ニ境ヒ又市ノ川ノ對岸横見郡長谷村ニモ對シ西ハ郡中石橋羽尾ノ二村ナリ此邊ヨリ土地次第ニ西ノ方ヘ高ク野山交レル所モアリ村內五ヶ所ニ溜井ヲ設テ用水トナセト水利ヨカラサレハ動モスレハ旱魃ノ患アリ當所ハ五十ノ日ヲ定メテ市ヲ立テ他ノ村々ヨリ雜穀及織物ノ類ヲ持出テ交易セリ此市ニ付テハ小田原北條家ヨリ出セシ掟モアレハ舊クヨリ立シコト知ラル小田原役帳ニ松山本郷ノ內十三貫文吉村助五郎寄子給田又同村ノ內卅六貫五百文多米新左衛門寄子ニ下サルトアレハ永祿ノ頃ハ吉村多米等ノ指揮セシ所ナルヘシ又松平遠江守カ家譜ニ松平内膳正家廣天正十八年武州松山城ヲ賜リ一萬石ヲ領ス後慶長六年二月轉

シテ遠州濱松城ヲ賜フトアリ一説ニ濱松ヘ轉セシハ其嗣左馬允忠頼カ時トス又松平備後守家清モ一旦松山ヲ賜ハリシト家傳ニ載タレト覺東ナシ松山廢城トナリシヨリ御料所トナリ寛永年中島田彈正忠ニ賜ハリ世々相續セシニ文化八年松平大和守ニ替ヘ賜ハリシヨリ今モ變ラス

高札場 宿並ノ中程ニアリ

小名 築瀬分 元宿分 前谷分 後谷分 新宿分 箭弓原

市ノ川 北ヨリ東ヘ繞テ通セリ北方ハ村ノ中間ヲ貫キ東ニ至リテハ當郡ト横見ノ郡界ヲ流ル川幅十間

滑川 野田村ヨリ入リ村內ニテ市川幅五間許

氷川社 宿並ノ鎮守ナリ熊野ヲ相殿トス勸請ノ始ヲ詳コセス貞享二年再興大旦那嶋田八郎左衛門ト記セシ棟札アリ觀藏寺持

天神社 觀音寺持

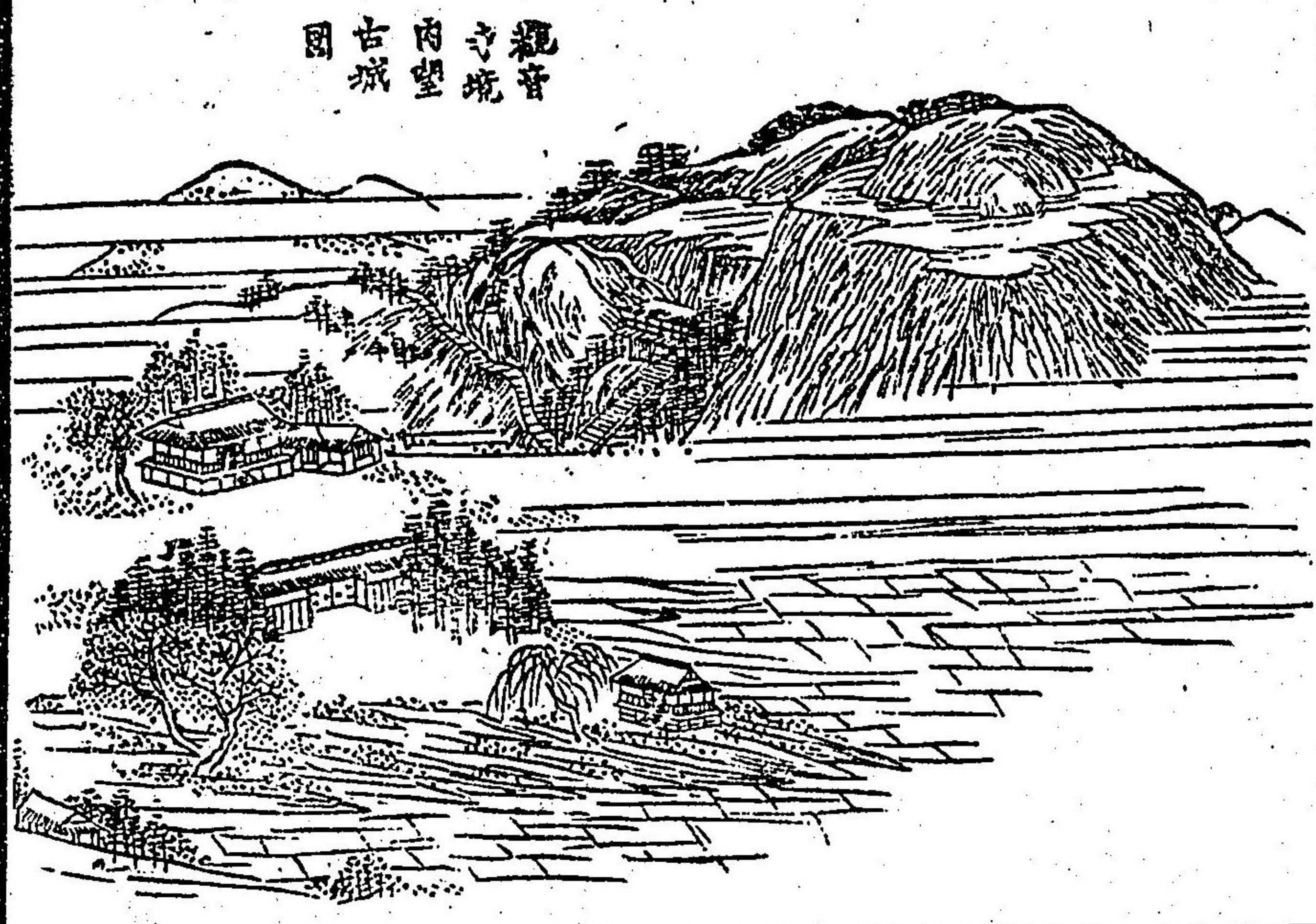
天王社

神明社 以上具持

稻荷社 小名箭弓原ノ多ク今ノ如ク市店旅宿門前ニ並ヘルハ彼頃ヨリノコトナリト延享二年時ノ地頭嶋田某社地許多ク免除セシ

例ニヨリ今モ頭主大和守ヨリ免除ノ社地アリ

福聚寺 天台宗下青島村淨光寺ノ末法香山多門院ト號ス開山祐悅寛文七年正月廿二日示寂本尊彌陀行基ノ作寛永十八年ノ檀越アレト銘文事蹟ノ考證トス



觀音寺 本山修驗元長久山ト稱ス本尊彌草創ノ僧日
 觀藏寺 新義真言宗橫見郡今泉村金 觀
 音堂 馬頭觀
 淨福寺 淨土新宗京都東本願寺ノ末松林
 作ト云開基ハ存慶ト云 觀音堂 正觀音
 傳ヘテ寂年詳ナラス 觀音堂 正觀音
 心ノ
 妙光寺 日蓮宗荏原郡池上村本門寺ノ末
 四日示寂トイヘハ舊キ寺ナリ長祐
 山山栖林院ト號ス本尊釋迦ヲ安ス

眞福寺 祈願山法垂院ト稱スコレモ淨光
 音ヲ安ス
 城恩寺 淨土宗入間郡河越蓮馨寺ノ末澤
 年中アリ享保二年ノ銘ヲ彫レリ
 撞鐘アリ享保二年ノ銘ヲ彫レリ
 曹源寺 禪宗曹洞派市川村永福寺末法冷
 トアレハ後今ノ山號トナリシモナナル
 眞作
 眞福寺 祈願山法垂院ト稱スコレモ淨光
 音ヲ安ス
 城恩寺 淨土宗入間郡河越蓮馨寺ノ末澤
 年中アリ享保二年ノ銘ヲ彫レリ
 撞鐘アリ享保二年ノ銘ヲ彫レリ
 曹源寺 禪宗曹洞派市川村永福寺末法冷
 トアレハ後今ノ山號トナリシモナナル
 眞作

本慶寺 同寺ノ末長久山ト稱ス本尊彌草創ノ僧日
 觀音寺 本山修驗元長久山ト稱ス本尊彌草創ノ僧日
 大申村 毘沙門堂比企郡長谷村不動堂ヲ兼帶ス
 日寂ス中興開山慶繁寛永十五年正月廿六日寂セリ
 石田又七郎ト云東照宮ニ仕奉リ元龜元年六月
 緣ニツキナ當所ニ奉リ出家セシカ長十六年十一月
 ノ序當寺ニ入セ玉ヒシ時拜謁シ奉リ己カ由緒ヲ
 ヒ仕奉ルヘキ山仰アリシハ今日ノ地若クテ賜ハ
 レリトイヘリ本尊不動ヲ安セリ境内ニ東照宮ノ御
 國久能山ヨリ下野國日光山ヘ御改葬ノオリカラ
 御宮ヲモ燒失アリシ奉レハ御假殿ニ建リト云
 經塚 塚ノ長九尺餘厚サ三寸幅二尺餘其圖左ノ如
 コトナレハシトサモアルコト云

願以此功德普及於一切 施主上田能登守源朝臣朝眞入道兼獨齋桑門宗調 生年 七八

南無妙法蓮華經

眞讀一千部善願成就之銘文

我等與衆生皆共成佛道 于時元龜二年大哉辛未二月時正中日起立之

舊家者五郎左衛門 岩崎ヲ氏トシ代々此村ノ名主役ヲウケマハレリ先祖ヲ岩崎

新編武藏風土記卷之七 北條家ニ仕フ其頃カノ家ヨリ出セシ文書致通

テモテリ其子孫連綿トシテ五郎左衛門ニ至レリ彼五郎左衛門カ父ノ時寶曆十三
年諍論ノコト起レリ其故ハ古來ヨリ此所ニ立ル市店ノ貸錢ヲ取來リシコトニ
リ村民喜左衛門ナル者ヲ始メ其餘七八ノモノカノ父カハカラヒアソトテ公
証ヘシコト年コロ家ニ傳ヘシ文書ヲ取イテハ申ヒラキシカハトガソ詮議アリシニ
舊クヨリ取リ來リシコト疑ヒナカリシユ元ノ如ク市店ノ貸錢ヲ取ヘキ由公ヨリ
免許アリシトサレト彼文書ハ此時公ニ止リテ今ハ寫テノ店ニ存セリ文面ニ解シカ
儘チ左ニ記セリ

就致詫言定之事

一如何様之借錢借米致之候共市之日來候商人に其催促不可申懸若非分ノ致無
沙汰者候者可致披露不及其儀荷馬以下爲所當取候仁ハ市之横合候間可爲越
度事

一濁酒致賣買家へ罷越致慮外或其所召取可致披露事

一市之日少之買物爲持來爲所用宿中之下人或押立儀近頃曲子細に候兩所へ走

廻引掛一向不可入事

一自宿中陳夫三疋三人陣着計可申付候事

一飛脚之義尤指置候難去時分者町人之中へ相頼可申付事

一ぬり物役并炭役之義宿中之者ノ計者尤指置事

以上六ヶ條

右押買狼籍之儀者何方も令法度更儀旨迄も無之候何之足輕小者中間に候共不
致思慮可致披露任法度則可申付候仍如件

元龜二年辛未六月十日

本郷町人

任所望指置兩條之事

一自屋敷出候傳馬并諸公事之事

一兵糧一駄往覆不可有相違候事

右先以十五年差置候其上依樣體一代茂可赦免候仍如件

元龜四月癸丙四月五日

本郷町人
岩崎與三郎

當知行分に有之候れんちやく衆棟別赦免之事永代差置候爲其印形出置者也仍

如件

天保二年
甲申十二月十三日

岡部越中守申次

岩崎對馬守殿

池谷肥前守殿

本郷宿地形結候而新市場割添候并三人之者相觸候段祝着候自期に彼宿々とい
や相抱候由尤任筋目申付候後年迄も不可有相違候本宿迄も如前々町人衆任置
候但本宿之爲土貢ト毎年五百疋宛可出之候由尤候仍如件

乙酉十一月十四日

岩崎對馬守

池谷肥前守殿

大島備後守殿

右ノ文書ニ載ル池谷肥前守ハ上田衆獨齊ニ屬セシ人ナリト云其子孫ヲ要助トイ
ヒテ是モ當村ニテ古文書數通ヲ藏シ前ノ五郎左衛門ト同ク當所市店ノ地代ヲ
世々取來レリカレハ近キ頃死シ其妻ノミナリシカハ女ノ身ノ家産ヲタテカタク
レハ隣ナル喜左衛門後見セシニユヘカレノ文書ヲモ預ケ置リ其文左ニ載ス

今度御世上火急ト付而ハ松山に致籠城無二に可走廻儀宿中之者何も同意に申
由越中申越候一段祝着に候累年當宿によつて進退とれくり候筋目さりとてハ
此度不走廻して不叶候走廻と心懸候者ハ小旗或鐵炮弓鏑似合く致支度走廻
可爲祝着候致籠城一途走廻者にハいか様之草かり以下成共歸城之上任望一廉
指引渥分可引立候此儀少も無疑心走廻肝要に候爲其以印判出之候然ハ如此申
出候上自然他所へ心とよせ可引移あてかい致者あらハ忽其斷申付後日にも小
田原迄も申上御分國中を尋召返堅可及其斷候町人衆わきの者迄も爲心得之如

此に候仍如件

永祿九年丙寅上田定印アリ
寅三月十一日

本郷町人衆
新宿本宿共に

從狩野陣

掟

右本郷へ當手之軍勢甲乙人等一切に不可出入若背此旨當郷へ來者有之者爲先
公方之中間小者不撰權門搦搏可披露兇角すまわハ可打殺猶甲山在陣之間一圓
陣衆之出入令停止候但陣中へ自在所運送之或小荷駄傳馬次にれるてハ無相違
可申付者也仍如件

永祿五年壬戌カ北條家虎朱印アリ
戊卯月五日

松山本郷
町人衆中

松田 幸之

茂呂御陣より罷越兵糧并馬のかいれう其外かい取度由いか様之以手引頼候共
一駄ハ不及申一儀其内あり共不可出若出候ハ、荷馬を取急ハ此義松山根小屋
之足かる衆心に入見まはりかたかく可申付但陣衆へは一さい少之義あり共いろ
うまーき者也以上

永祿九年丙寅カ北條家虎朱印アリ
寅八月十六日

松山根小屋に於る衆
本郷宿中

山之根そのほかのもの他郷之吊へ諸色付出事くせ子細無是非候荷物并馬計留候儀の大かたの致様に候此上あからさふくせめ猶以もちいす一人も二人も其上もうちころすへき事くるからぬよ一被仰出候仍如件
元龜元年庚午北條家虎朱印アリ
午八月十六日
岡部越中

本郷宿町人衆へ

追而留候物と先以てのくまあつけられせられ候以上

定

- 一 自高坂筋駄らん可爲如此以前事
- 一 上下宿地并三間之裏屋敷合點之事
- 一 竹木之儀當知行之内とも口切し可留但松山之所用第一は候間本郷之宿へ者いか程も付來萬民之所用に可立事
- 一 押立傳馬之儀路次十里計之儀殊一疋貳疋之急用ならは俄とも可申付候路次も遠又馬數有之時者前之日可申付事
- 一 押買狼籍作此上精と入可申付事以上

天正四年カ北條家虎朱印アリ
丙子九月廿四日

本郷町人

法度

一 山之根其外松山領に於て他所のあき人所用之物とかい取其郷村より直によそへととる由聞届候本郷之市へいたすてかくれ志のふたに致之儀うり手くせ子細第一に候事

一 かい手之義は他所之者に候間無是非候さて又松山領之者とも一類共にせいといとくへ妻をひひき野へ可出置うり手之義れんとに可申上候

一 如此かい取よそへととり候荷物と本郷の町人とも致談合在々所々に於てかたくとめぬ事

右三ヶ條仍如件

天正九年カ北條家虎朱印アリ
辛巳九月晦日

岡部越中守
本郷町人中

制札

一 喧嘩口論并押買狼籍可口停止事

一當市之日諸色他所へ出事相違有間敷候但兵糧竹木ハ堅出間敷事

一於當市商賣之物諸色共ニ役有之間敷事

一當市へ來者借錢借米不可致催促殊質取致間敷事

一市之日商人中ニ而如何様之間答有之共奉公ハ一言も不可綺町火ささきたる

へき事

右條々新市庭之事ハ候間斷而可申付候若背此旨者有之者代官并町人衆より早々可致披露者也仍如件

天正十四年丙戌カ
戌二月晦日

憲宗花押

本郷新市場

制札

此度之於陣中夜をいそ夜盜致のいか程も所用は候れの□□と立すくやある者中谷領ハ不及申いつれの私領の者成共領主にきつかいあく陣中へきたり可走廻候ふちハ當座は可出置候其上走廻候之者を御大途迄申立自分之儀ハ一廉可令褒美候又此儘奉公のととの者ハ給分出置可引立候此以前於當家中科あるもの成共又借錢借米有之者成共此度之陣へきたり走廻に付てハ相違有間敷

候陣へきたるものハ河内守方より印形を取可來候仍如件

天正十八年庚寅カ
寅二月廿八日

憲定印

松山新田

松山新田ハ元文ノ頃開發シ延享三年神尾若狹守檢地シテ稅務ヲ定メアリ民戸四軒東ハ松山町ニ隣リ南ハ野本村西ハ羽尾石橋ノ二村ニテ北ハ市ノ川村ナリ東西六丁餘南北三町許皆畑ノ地ニテコレモ松平大和守ノ領分ナリ

小名 原新田

八幡社 當所ノ鎮守
ニテ持持

平村

平村モ領名前村ニ同シ江戸ヨリノ行程十五里村ノ廣サ東西へ十四五町南北ハ十六町許東ハ横見郡長谷村ニ隣リ南ハ市ノ川ニ限リテ松山町ニ界ヒ西ハ野田村ニ隣ヒ北ハ大里郡甲山村ニ及ヘリ家數百二十軒用水ノ便リアシケレハ溜井ヲ設ケ天水ヲ湛ヘテ耕ヘセリ御打入ノ後ハ岡野長十郎カ知ル所ナリ其後子孫平三郎ノ時享保年中一族岡野主水ニ分知シ二人ニテ知行セシカ後ナ又平三郎カ知行ハ上リテ御料所ニ屬セシテ文化八年松平大和守ニ賜ハリテ今ハ岡野吉之丞ト大和守カ知ル所ナリ

檢地ハ延寶四年時ノ地頭岡野平三郎糺セリ

高札場村ノニア

小名 久保ノ下 中谷 本村

滑川村ノ南ノ方ヲ流

熊野社村内ノ鎮

稻荷社

諏訪社

神明社以上四社共ニ覺

覺性寺新義真言宗横見郡今泉村金剛院末妙 藥師堂

眞福寺天台宗行人派江戶音羽町普門院ノ配下

野田村

野田村ハ水房ノ庄ニ屬シ領名ハ前村ニ同シ江戸ヨリ行程十六里民戸四十五東ハ平村ニ隣リ南ハ松山町及市ノ川村ニ堺ヒ西ハ羽尾山田ノ二村ニ添ヒ北ハ大谷村ニ並ヘリ東西十町南北八丁水利不便ナレハ天水ヲ港ヘテ耕セトモ早魃ノ患アリ御入國ノ後岡部太郎作ニ賜ハリ寛文五年檢地セシカ子孫徳五郎ノ時安永元年收公セラレ

テ御料所トナリ天明年中秋元但馬守ニ賜ハリ今ノ左衛門佐ニ至リテ今モ替ラス

高札場村ノ中程

小名 向ヒ 小林

滑川村ノ南ニア

赤城社村ノ鎮守ナリ 靈山

天神社村

神明社是モ同

西明寺曹洞宗市ノ川村永福寺ノ末萬

山田村

藥師堂

山田村ハ江戸ヨリノ行程及ヒ領名等前村ニ同シ民戸九十餘東ハ野田大谷ノ二村ニ接シ南ハ羽尾村ニ隣リ西ハ福田村ニテ北ハ土鹽村及ヒ大里郡和田村ニ境ヘリ東西十八町南北三十六町村内用水ノ便リナケレハ天水ヲ溜井ニ港ヘテ耕セリ當村ハ文祿元年二月朔日森川金右衛門氏俊ニ賜ハリ其子庄九郎慶長十六年檢地シ今モ子孫美濃守カ知ル所ナリ

高札場村ノ南

小名 一町田 西田 前谷 中郷

滑川 南方ヲ流ル
川幅四五間

淡淵明神社 村ノ鎮守ナリ東光
寺持下二社モ同

雷電社

山王社

東光寺 天台宗下青島村淨光寺ノ末裔王山
瑠璃光院ト號ス本尊彌陀ヲ置リ

藥師堂

觀音堂

藥師堂 共ニ
村持

大谷村

大谷村モ江戸ヨリノ行程及ヒ領名等前村ニ同シ村ノ四境東ハ大里郡甲山村ニ隣リ

南ハ野田村ニ並ヒ西ハ山田村ニシテ北ハ岡郷ナリ東西南北共ニ二十町餘民戸二百

三十天水ヲ以テ耕植ス此村モ御入國ノ後森川金右衛門氏俊ニ賜ハリ今子孫美濃守

カ知ル所ナリ檢地ノ年代モ前村ト同ナシ

高札場 村ノ西

小名 比丘尼山 村ノ西ニアリ比企判官能員カ女頼家將軍ノ妾トナリテ若狹局
稱セシカ頼家横死ノ後此地ニ草庵ヲ結ヒテ住セシト云

扇谷 片岡谷 櫛引谷 菅ヶ谷 城ヶ谷 蘆ヶ谷 梅ヶ谷

地頭森川美濃守陣屋 村ノ西ニアリ反別三町許リ先祖金右衛門氏俊當兩ヲ賜ハリ
ヲ守ラ

雷電社 雷電山ト號セル山上ニ
アリ村内ノ鎮守ナリ村持

八幡社 南藏
院持

天神社 成就
院持

宗悟寺 曹洞宗豊嶋郡赤塚村松月院ノ末慶安元年七月寺領十五石餘ノ御朱印ヲ賜ハレ
後其妻若狹局當所ニ來テ剃髮染衣ノ身トナリ前コソルセル比丘尼山ニ草庵ヲ

結ヒ頼家追福ノ爲トシテ一寺ヲ草創シ云々比企頼家ノ長男一萬ノ隱棲セシコトハ他コ
所見ナケレト彼局ハ比企判官能員カ女ニテ頼家ノ長男一萬ノ隱棲セシコトハ他コ

權次第ニ載ス又東鑑養和二年十月ノ條ハ比企頼家ノ長男一萬ノ隱棲セシコトハ他コ
請所ト爲ナト又東鑑養和二年十月ノ條ハ比企頼家ノ長男一萬ノ隱棲セシコトハ他コ

扇谷山 宗悟寺ト改號ス故ニ氏俊法諡ヲ金右衛門氏俊ト稱セリ此地ニ移レテ住シナ
傳悦ト云文祿三年四月廿七日卒ス氏俊ハ

慶安三年七月廿日卒ス本尊釋迦ヲ安ス 白山社 秋葉社 辨天社 稻荷社

鐘樓 銘文考證ニ益ナケレハ零カク 白山社 秋葉社 辨天社 稻荷社

南藏院 本山修驗山町觀音寺ノ 白山社 秋葉社 辨天社 稻荷社

成就院 當山修驗山町觀音寺ノ末長 白山社 秋葉社 辨天社 稻荷社

地藏堂持

岡郷

岡郷ハ中古岡之郷ト記セシト云又正保中ノモノニハ岡村トモ記セリサレト元祿改定ノ國圖ニハ既ニ今ノ名ヲノセタリ水房庄ニ屬シ江戸ヨリノ里數領名等ハ前村ニ同シ土地モトヨリ高ク岡ノサマナリ村内光福寺釋迦堂ノ前ニ元享年中ニ建シ寶篋塔アリソレニ武州比企郡玉太岡四國山光福寺トシルセハ往古ハ玉太ノ岡ト唱ヘシニヤ又當村ヨリ長ノ方十五町許ヲ隔テ玉作村アリカク玉ヲモテ名付シ故詳ナラス民戸六十九軒東ハ大里郡相上箕輪二村ニ隣リ南ヨリ坤ニ至テハ本郡大谷村ニ接シ西ハ又大里郡和田村ニ境ヒ北ハ和田吉野川ヲ限テ同郡高本村ニ交レリ東西二十三町南北ハハ五町若クハ纒ニ一町ニ餘レル所アリ用水ニハ恩田村ノ出水ヲ用レト川ニ添シ所ハ地形モ卑ケレハ水損ノ所アリ西方ニ一條ノ街道アリ幅一間半河越ヨリ熊谷ヘノ街道ナリ又同シ邊ニ鎌倉古街道ト唱ル所アリ當村ハ文祿元年酒井與九郎重勝ニ賜ヒ正保ノ頃モ同シ家ノ知ル所ナリシニ後ニ上リテ寛政八年松平大和守ノ領分トナリシヨリ今モ替ラス

高札場村ノ中央

小名

池ノ下

佛澤

以上二ヶ所ハ知

常仙坊塚

伊勢河岸

鶴マキ

升カ谷

地藏堂

元屋敷

藥師堂

庚塚

堰場

和田吉野川

村ノ北ヲ流ル幅ハ四間許ニ餘リモアリ

神明社

雷光寺持

雷電社

同寺ノ持以上ニ社共ニ鎮守ナリ

諏訪社

妙安寺持

天神社

修驗殿若院ノ持

八幡社

光福寺持

稻荷社

雷光寺持

光福寺 曹洞宗 足立郡里村法性寺ノ末四國山ト號ス慶安二年八月廿四日釋迦堂須山五世章山永祿十年二月廿一日寂スト云ド境內釋迦堂ノ前ニ元享亥ノ古碑アリシカハ舊地ニ頃回祿ニ羅シシニ其ナリフン當地モ殆ト廢寺トナルヘキ様ナルテ彼知足院ヲ此ニ移來リ合シテ一字トナヒリ其寺ノ山ハ則知足茂林ト號セシト寺僧ノ傳ヘリ本堂ノ軒ニ大鐘ヲカク 神明熊野稻荷合社 八幡天神合社 釋迦堂 寛政十一年鑄造ノ軒ニ大鐘ヲカク 藥師堂 地藏堂 寶篋塔 表ニ奉造立寶篋印塔一行基ノ作坐像六尺御朱印ハ此 藥師堂 地藏堂 寶篋塔 表ニ奉造立寶篋印塔一行基ノ作坐像六尺御朱印ハ此 堂ニ附サセ給ヒシモノナリ 字ニ彫レリ其 文左ニ載ス

右塔婆者大日本武州

比企郡玉太岡四國山

光福寺禪師沙門鏡空了圓

元享癸亥佛成道日起之誌之

當寺大旦那比丘尼妙珊

藤原光貞朝臣

施主沙彌閣阿

妙安寺 曹洞宗福田村成安寺ノ末諏訪山ト觀音堂

本願寺 曹洞宗三河國瀨尾寺ノ末黃梅山ト觀音堂

雷光寺 新義真言宗横見郡御所村息障院ノ門徒雷電山ト觀音堂

般若院 本山修驗ナリ本尊不動ヲ安セリ

新編武藏風土記稿卷之一百九十五終

明治十七年四月十六日出版版權屆 壹帙四册 定價金壹圓

內務省地理局出版

東京府平民

近藤圭造

深川區富田門前町

七十番地

埼玉縣平民

根岸武香

武藏國大里郡青山村

隱香地

發兌人

105

30

